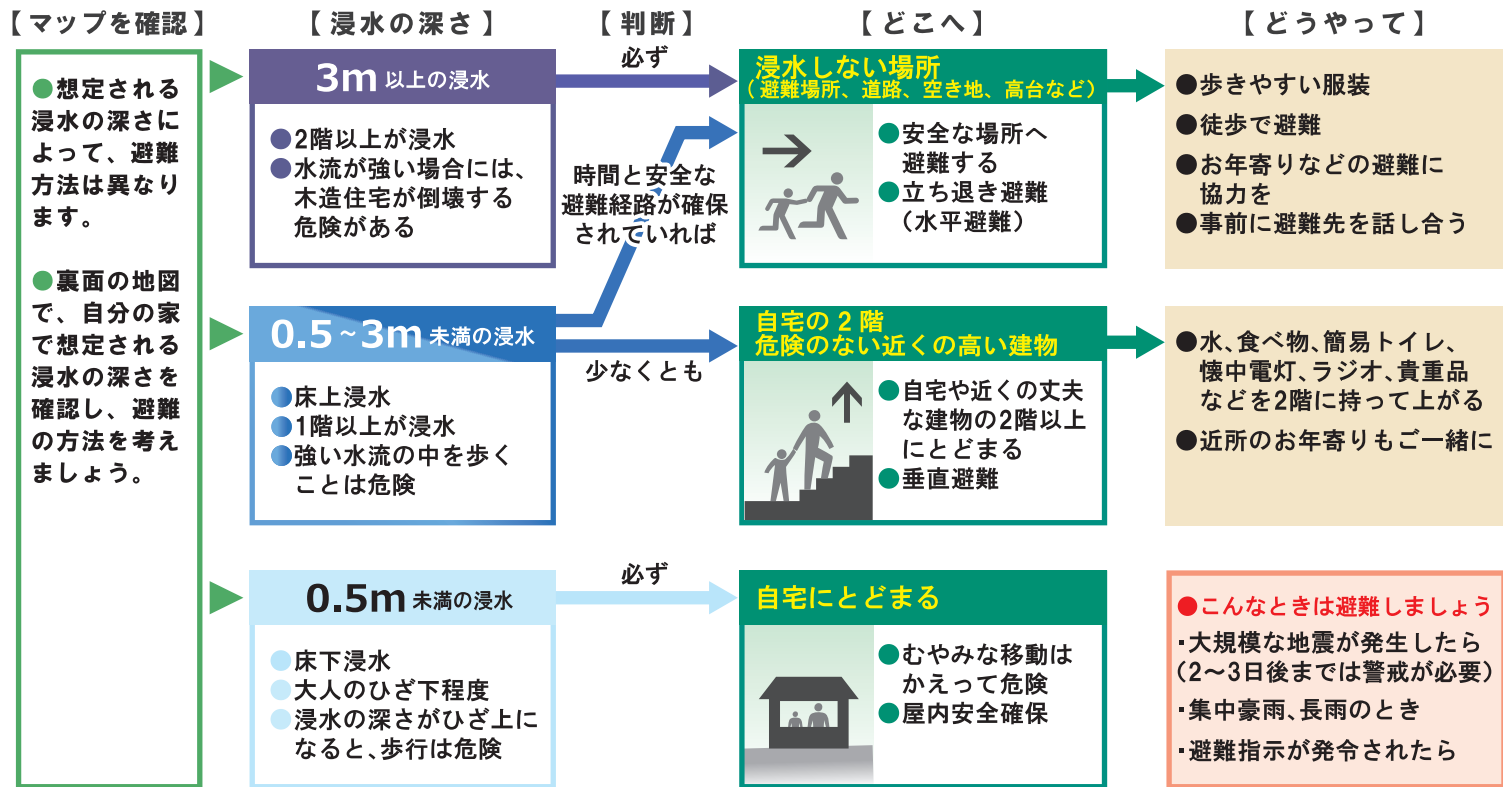


● 状況に応じた避難をしよう

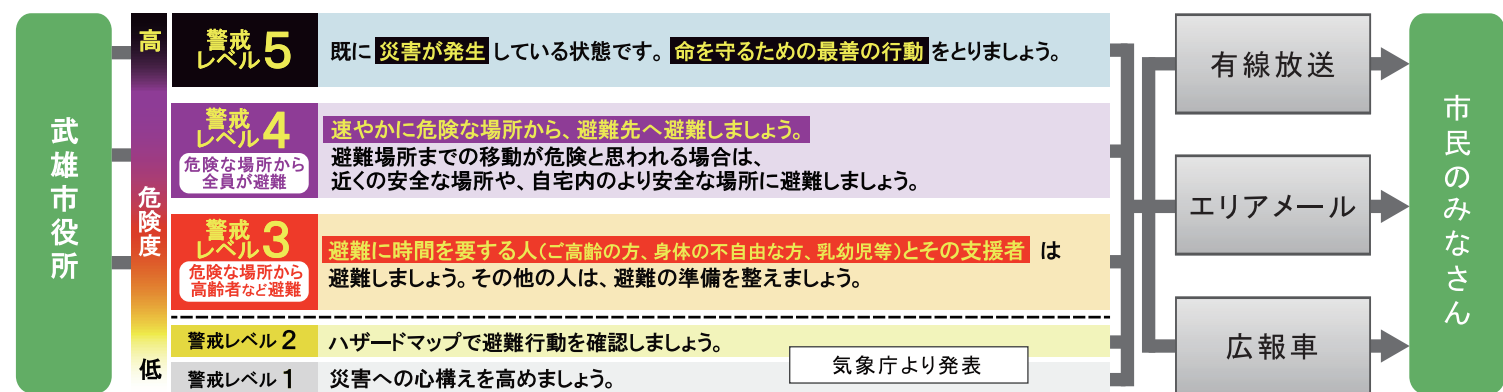
》ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ



● 避難に備え早めの情報収集を行いましょう

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス	情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
たけおポータル	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.city.takeo.lg.jp/bosai/	リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	https://www.river.go.jp/
防災・減災さが	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.pref.saga.lg.jp/bousai/	気象庁	全国の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/jma/index.html

● 市役所から呼びかける避難情報



※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※危険を感じたら、これらの情報を待たずに自主避難をしてください。 ※逃げ遅れによる被災が多くなっています。

【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】 〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
武雄市役所 TEL：0954-23-9335（農林課） ホームページ <https://www.city.takeo.lg.jp/>



武雄市ため池ハザードマップ

がらん
伽藍ため池

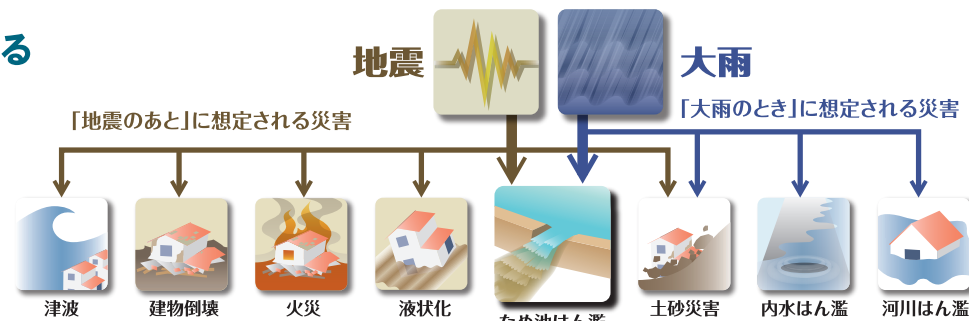
作成：令和6年3月
(2024年)

この「ため池ハザードマップ」は、地震などにより、伽藍ため池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



▶ ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同時に注意が必要です。



● ため池ハザードマップの活用方法（急な事態へ備えましょう）

① 想定される浸水区域や深さをチェックしましょう。

- ・危険度やはん濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。
- ・災害時の様々な事態をイメージしましょう。



② 避難場所を決めておきましょう。

- ・危険度やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・浸水深が3mを超える区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。
- ・家族の連絡先を確認しておきましょう。



③ 避難場所までの避難経路を考えましょう。

- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- ・避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



④ 日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- ・避難の際に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



⑤ 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



⑥ 市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・武雄市ハザードマップには、大雨に伴う河川のはん濫や、その避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。

